

江戸川区立瑞江小学校 図画工作科 5年 評価基準

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
4-6時間 教科書 p.8-9	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	春を感じて	「身近で感じることを見 つけたり、かく材料を選 んだりして、表したいこ とを思いつく」ことを通 して、試したり、見つけ たり、考えたりして、思 いつく力を培う	自然の風景だけでなく、身近にあるものや生活の中 での出来事などで季節を感じたものやことを見つけて 絵に表す内容である。季節を感じるものは、人物の服 装や生き物、街や室内に飾られているものなど、様々 にある。一人一人が感じたことを大切に、自分が見 つけた対象の形や色の特徴を思いのままに表現する。 〔共通事項〕との関連 身近な季節を感じたり、見つけたりすることを通し て、形や色、奥行きなどの造形的な特徴をとらえ、こ れをもとに自分の表したい絵のイメージをもつ。	関: 生活の中から表したいものやことを見つ けて、表現することを楽しむ。 発: 主題が効果的に表せるように、視 点やものの配置など、構成のおもしろ さを考える。 創: 表したい感じがよく表れるよう に、絵の具や他の描画材料の扱いを工 夫する。 鑑: 自他の感じ方のよさやおもしろ さ、表し方の工夫を感じ取る。	関: 生活の中から表したいものやことを見つ けて、表現することを楽しんでいる。 発: 主題が効果的に表せるように、視 点やものの配置など、構成のおもしろさを考 えている。 創: 表したい感じがよく表れるよう に、絵の具や他の描画材料の扱いを工夫 している。 鑑: 自他の感じ方のよさやおもしろ さ、表し方の工夫を感じ取っている。	関: 生活の中から表したいものやことを見つ けて、表現することを積極的に楽しんでいる。 発: 主題が効果的に表せるように、視 点やものの配置など、構成のおもしろさを十分考 え、構想し ている。 創: 表したい感じがよく表れるよう に、絵の具や 他の描画材料の扱いを効果的に工夫している。 鑑: 自他の感じ方のよさやおもしろ さ、表し方の 工夫をしっかりと感じ取っている。	教師: 画用紙や色画用紙 など(四つ切り、八つ切 り) 児童: 水彩用具一式、ク レヨン、パス、カラーペ ンなど
2時間 教科書 p.10-11	A表現(2) ア、イ、 ウ (立体) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	切ったねん土の 形から	「ねん土のかたまりや板 を切り取り、その形の組 み合わせ方をくふうす る」ことを通して、形や 色、方法や材料を工夫す る力を培う	粘土を塊からテグスなどで切り分けたり、板状のも のから切り針で切り起したりして、変化に富んだ断面 の形状や自由に形成できる特性などを味わいながら、 構成したり分断したりを試しながら立体に表す。 〔共通事項〕との関連 材料に対する行為の結果で生じた形や質感を感じ取 り、それを自分の表現の中にどう取り入れるかイメ ージをもつ。	関: 粘土を切ることを楽しみ、そこか ら生まれた形を生かして表現する。 発: 粘土を切り起こしたり、切り取 って組み合わせたりしながら、自分が表 したいことを構想する。 創: 切り方や組み合わせ方を工夫して 表す。 鑑: 自分や友達を表し方のよさやお もしろさを味わう。	関: 粘土を切ることを楽しみ、そこか ら生まれた形を生かして表現している。 発: 粘土を切り起こしたり、切り取 って組み合 わせたりしながら、自分が表したいこ を構想している。 創: 切り方や組み合わせ方を工夫して表 している。 鑑: 自分や友達を表し方のよさやお もしろさを 味わっている。	関: 粘土を切ることを楽しみ、そこか ら生まれた形を生かして積極的に表現している。 発: 粘土を切り起こしたり、切り取 って組み合 わせたりしながら、それをもとに自分が表したいこ を豊かに構想している。 創: 切り方や組み合わせ方を表現に生かす工夫を し、効果的に表している。 鑑: 自分や友達を表し方のよさやお もしろさを深 く味わい、進んで話し合うなどしている。	教師: 土粘土(一人1.5～ 2.0kg)、切り糸、テグ ス、粘土板、粘土べら、 粘土延べ棒、たたら板、 新聞紙 児童: タオル
4-6時間 教科書 p.12-13	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	糸のこのドライ ブ	「曲線切りした板の形や 色の組み合わせ方を試し たり、見つけたりして、 つくりたいものを思いつ く」ことを通して、試し たり、見つけたり、考え たりして、思いつく力を 培う	電動糸のこぎりを使って、板の曲線切りによって生 まれた形から発想し、組み合わせで新たな形をつくり 出す内容である。用具の経験を通して技能を高めなが ら、自由に曲線切りを楽しめるようにしたい。また、 切った板の形や色の構成、組み合わせなどを試しなが ら、自分が表したいものを追求する。 〔共通事項〕との関連 電動糸のこぎりで切った形や色、材料の組み合わせ などを試しながら、それらがつくり出す形の特徴をと らえ、自分の表したいイメージをもつ。	関: 板の曲線切りを楽しむとともに、 切った形を生かす活動に取り組む。 発: 曲線切りによって生まれた形から つくりたいものを考え、自分らしい発 想を広げる。 創: 形や色の組み合わせ、丈夫な接着 など、表したい意図に関連づけながら 技能を働かせ、工夫してつくる。 鑑: 友達と自分の作品の特徴について 話し合い、よさやおもしろさを認め 合う。	関: 板の曲線切りを楽しむとともに、切 った形を生かす活動に取り組んでいる。 発: 曲線切りによって生まれた形からつ くりたいものを考え、自分らしい発 想を広げている。 創: 形や色の組み合わせ、丈夫な接着 など、表したい意図に関連づけながら 技能を働かせ、工夫してつくっている。 鑑: 友達と自分の作品の特徴について 話し合 い、よさやおもしろさを認め合っている。	関: 板の曲線切りを楽しむとともに、切 った形を生かす活動に意欲的に取り組んでいる。 発: 曲線切りによって生まれた形からつ くりたいものを考え、自分らしい発 想を豊かに広げている。 創: 形や色の組み合わせ、丈夫な接着 など、表 したい意図に関連づけながら技能を働かせ、効果 的に工夫して的確につくっている。 鑑: 友達と自分の作品の特徴について 進んで話 し合い、よさやおもしろさを深く認め合っている。	教師: シナベニヤ等の板 材、電動糸のこぎり、紙 やすり、接着剤、ポス ターカラーまたはアクリ ル絵の具、木工用接着 剤、必要に応じて木工用 具 児童: 水彩用具一式、身 辺材
2-4時間 教科書 p.14-15	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	めざせ、ロー ラーの達人	「ローラーのいろいろな 技をくふうする」ことを 通して、形や色、方法や 材料を工夫する力を培う	これまでに経験してきたローラー遊びや絵の具遊び などを思い起こし、ローラーを使ってできる高学年ら しい新たな可能性を探りながら、自分なりの表現をす ることを楽しむ。また、形や色の重なりや奥行きを感 じながら、方法や材料についての経験も広げていく。 〔共通事項〕との関連 ローラーを操作する行為や表した形や色、奥行きな どをとらえ、自分らしいイメージをもつ。	関: ローラー遊びの楽しさを味わい ながら、その可能性を試したり、考え たりする。 発: これまでの経験や自分の感覚を働 かせながら、自分の思いを広げて表 す。 創: ローラーの特徴や材料の組み合 わせなどを工夫し、自分らしい表し方 に生かす。 鑑: 互いの表し方や作品のよさ、お もしろさに気づく。	関: ローラー遊びの楽しさを味わい ながら、その可能性を試したり、考え たりしている。 発: これまでの経験や自分の感覚を働 かせなが ら、自分の思いを広げて表している。 創: ローラーの特徴や材料の組み合 わせな どを工夫し、自分らしい表し方に生かしてい る。 鑑: 互いの表し方や作品のよさ、お もしろさに 気づいている。	関: ローラー遊びの楽しさを味わい ながら、積極的にその可能性を試したり、考え たりしている。 発: これまでの経験や自分の感覚を働 かせなが ら、自分の思いを豊かに広げて、様々 な表し方を している。 創: ローラーの特徴や材料の組み合 わせな どを進んで工夫し、自分の思いに合 った形や色、自分 らしい表し方など効果的に生かしてい る。 鑑: 互いの表し方や作品のよさ、お もしろさに 気づき、認め合っている。	教師: スポンジロー ラー、トレイ、ポスター カラー、画用紙、色画用 紙、エアークラップ、ひ も、片面段ボール、透明 粘着テープ、新聞紙など 児童: はさみ、水彩絵の 具など

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
2時間 教科書 p.16-17	B鑑賞(1) ア、イ	 造形表現活動の快 さや楽しさを経験 させ、相互理解を 図る	「かくれんぼさ ん」をさがせ！	「自分や友だちの活動の よさやおもしろさをたの しんだり、味わったりす る」を通して、心を 開き、楽しく活動し、友 だちと関わり合う力を培 う	教室や廊下など身近な場所に目を向け、環境そのも のが表現の舞台となることに気づかせるとともに、互 いの作品を見る楽しさを味わう。身近な所に隠れてい る「かくれんぼさん」を画用紙の小片に水彩絵の具な どでかき表し、そっと隠す感覚でその場所に置く。自 他の作品を鑑賞し、互いの発想のよさを感じ合い、さ らに触発し合い表現を高め合う活動となる。 〔共通事項〕との関連 身近な場所や環境の中で形や色の組み合わせをとら え、自分の表したいイメージをもつ。	関：身近な場所に関わり、描画材料を生かして表現し、隠れさせることを楽しむ。 発：身近にある場所の形や色のおもしろさや美しさを味わい、それをもとに発想を広げる。 創：身近にある場所の形や色のおもしろさから発想した「かくれんぼさん」を工夫し、表している。 鑑：互いの「かくれんぼさん」のよさやおもしろさを味わい、話し合う。	関：身近な場所に関わり、描画材料を生かして表現し、隠れさせることを楽しんでい る。 発：身近にある場所の形や色のおもしろさや美しさを味わい、それをもとに発想を広げ ている。 創：身近にある場所の形や色のおもしろさか ら発想した「かくれんぼさん」を工夫し、表 している。 鑑：互いの「かくれんぼさん」のよさやおも しろさを味わい、話し合っている。	関：身近な場所に関わり、描画材料を生かして進 んで表現し、隠れさせることを積極的に楽しんで いる。 発：身近にある場所の形や色のおもしろさや美し さを味わい、奥行きや作品の隠し方など様々な視 点から豊かに発想を広げている。 創：身近にある場所の形や色のおもしろさから発 想した「かくれんぼさん」を描画材料を効果的に 工夫し、表そうとしている。 鑑：互いの「かくれんぼさん」のよさやおもしろ さ、工夫したところなどを味わい、積極的に話し 合っている。	教師：画用紙 児童：水彩用具一式、ク レヨン、パス、はさみ、 セロハンテープ
4-6時間 教科書 p.20-21	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	くるくる回して	「かんたん楽しくみ を使った動くおもちゃをく ふうする」ことを通し て、形や色、方法や材料 を工夫する力を培う	針金や空き箱を使った動く仕組みについて知り、動 き方を生かしながら発想を広げ、動きと材料を効果的 に組み合わせる表現していく。針金を曲げる位置や揺 れ棒の関係をよく考え、動かしながら発想をふくらま せ、自分なりの主題を見つけ、色紙やカラーペンなど で加飾してつくる。友達と作品を動かして遊び、自他 のよさや工夫したところを感じ取らせたい。 〔共通事項〕との関連 動きの特徴や形や色などからとらえ、これをもとに 自分のイメージをもつ。	関：動き方や動く仕組みに関心をもつてつくることを楽しむ。 発：動き方や動く仕組みから発想を広げ、回 すとおもしろい動き方のするおもちゃを考え る。 創：動く仕組みを理解し、自分の思い に合う材料を選び、表現を工夫する。 鑑：自分や友達のつくったおもちゃの おもしろさや工夫を感じ取る。	関：動き方や動く仕組みに関心をもつてつ くることを楽しんでいる。 発：動き方や動く仕組みから発想を広げ、回 すとおもしろい動き方のする独自のおもちゃを考 えている。 創：動く仕組みを理解し、自分の思いに合 う材料を選び、表現を工夫している。 鑑：自分や友達のつくったおもちゃのおも しろさや工夫を感じ取っている。	関：動き方や動く仕組みに強い関心をもつてつ くることを積極的に楽しんでいる。 発：動き方や動く仕組みから豊かに発想を広げ、 回すとおもしろい動き方のする独自のおもちゃを 考えている。 創：動く仕組みを十分理解し、自分の思いに合 う材料を選び、効果的に形や色を工夫している。 鑑：自分や友達のつくったおもちゃで互いに遊 び、作品のおもしろさや工夫したところを深く感 じ取って、話し合うなどしている。	教師：針金、ストロー、 竹ひご、セロハンテ ープ、両面テープ、カラ ーペン、ペンチ、カッター ナイフ、カッターマット 児童：空き箱、はさみ、 接着剤、ホチキス、カ ラーペン、身辺材
4-6時間 教科書 p. 21	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	※ ビー玉、大ぼう けん	「身近な材料で、ビー玉 がたのしく転がるおも ちゃをくふうする」こと を通して、形や色、方法 や材料を工夫する力を培 う	身のまわりの材料を使って、ビー玉が転がる動きや 仕組みを工夫して楽しむ内容である。材料を生かした 組み合わせ方や仕組みなどを、遊びながら試し、造形 的に工夫する楽しさを味わう。ビー玉が転がる速さや 向き、意外な動き、見た目のおもしろさなどを考えたり 、道や柱の形や色などに合わせて材料を工夫したりす る。 〔共通事項〕との関連 遊ぶものをつくる活動を通して、形や色、動きや奥 行きなどの造形的な特徴をとらえ、これをもとに自分 のつくりたいおもちゃのイメージをもつ。	関：ビー玉がいろいろな動きをする形や仕組 みや仕組みに関心をもって、つくること を楽しむ。 発：材料の組み合わせを試したり、動 き確かめたりしながら、おもしろい 仕組みを考える。 創：材料のよさや違いを味わいなが ら、意図に合った形や丈夫さを工夫す る。 鑑：互いに遊びながら新しい表し方や アイデアのおもしろさを味わい、伝え 合う。	関：ビー玉がいろいろな動きをする形や仕組 みに関心をもって、つくることを楽しんで いる。 発：材料の組み合わせを試したり、動 き確かめたりしながら、おもしろい仕 組みを考えている。 創：材料のよさや違いを味わいなが ら、意図に合った形や丈夫さを工夫して いる。 鑑：互いに遊びながら新しい表し方や アイデアのおもしろさを味わい、伝え 合っている。	関：ビー玉がいろいろな動きをする形や仕組 みに強い関心をもって、つくることを積極的に楽し んでいる。 発：いろいろな材料の組み合わせを試したり、動 き確かめたりしながら、独創的なおもしろい仕 組みを考えている。 創：材料のよさや違いを味わいなが ら、意図に合った形や丈夫さ、効果的な形や色を 独自に工夫している。 鑑：互いに遊びながら新しい表し方や アイデアのおもしろさをしっかりと味わい、積極 的に伝え合っている。	教師：土台になる板材(ま たは段ボール、牛乳パッ クなど)、色画用紙、帯紙 や紙バンド、紙テープ 児童：ビー玉、はさみ、 接着剤、絵の具やカラ ーペン、ホチキス、身辺材
4-6時間 教科書 p.22	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	クルリンげき じょう	「ねじった紙から思いつ いた物語の表し方をくふ うする」ことを通して、 形や色、方法や材料をく ふうする力を培う	模様をつけた厚紙にカッターナイフで自由に切り込 みを入れる。その厚紙をねじった形から思いついた物 語を工夫して表す。物語の場面が伝わるように主人公 の表し方を決めたり、偶然にできた形のおもしろさを 生かした表し方を考えたりする。身近にある材料の組 み合わせを試しながら、よりよい表し方を工夫する。 〔共通事項〕との関連 偶然にできた形のよさやおもしろさをとらえ、自分 の表したい物語のイメージをもつ。	関：厚紙をねじってできた形に関心をもち、 表し方の違いを楽しみながら取り 組む。 発：偶然にできた形のよさやおもしろ さをもとにイメージを広げ、表したい 物語を見つめる。 創：ねじってできた形や材料の組み合 わせを生かし、表し方を工夫する。 鑑：自他の物語の表し方の違いやよ さを味わい、感じたことを伝え合う。	関：厚紙をねじってできた形に関心をもち、 表し方の違いを楽しみながら取り組ん でいる。 発：偶然にできた形のよさやおもしろさ をもとにイメージを広げ、表したい物 語を見つけている。 創：ねじってできた形や材料の組み合 わせを生かし、表し方を工夫している。 鑑：自他の物語の表し方の違いやよ さを味わい、感じたことを伝え合っ ている。	関：厚紙をねじってできた形に高い関心をもち、 様々な表し方の違いを楽しみながら積極 的に取り組んでいる。 発：偶然にできた形のよさやおもしろさ をもとにイメージを広げ、表したい物 語のよりよい伝え方を見つけている。 創：ねじってできた形や材料の組み合 わせを生かし、様々な表し方を意欲 的に工夫している。 鑑：自他の物語の表し方の違いやよ さを深く味わい、感じたことを比 べながら伝え合っている。	教師：工作用紙または白 ボール紙、段ボールまた は板材、スポンジロー ラー、共同絵の具、トレ イ、軽量紙粘土、色厚 紙、木工用接着剤、カッ ターマット 児童：水彩用具一式、ホ チキス、カッターナイ フ、はさみ、身辺材(布、

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
2時間 教科書 p.23-24	A表現(1) ア、イ、 ウ (造形遊び) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	流れる風をつか まえて	「風の動きをとらえる場 所や材料の特ちょうを見 つけたり、考えたりす る」ことを通して、試し たり、見つけたり、考え たりして、思いつく力を 培う	風のもつ魅力を十分に感じ、それを生かして場所や 環境と関わりながら、いろいろな材料を使って活動し ていく内容である。 風動きを見つけ、とらえることができるよう に、様々な材料を選ぶことや試行錯誤しながら、これ までの経験を総合的に生かして活動を展開していく。 〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行き などの造形的な特徴をとらえ、これをもとに自分のイ メージをもつ。	関 ：風の特徴を感じ取り、目に見えない風の姿を表すために、自分の思いのままに表す。 発 ：風動きをどのように表すか思いつき、材料を選び、しかけのつくり方を考えるなどの思いをめぐらせる。 創 ：材料を使って風の動きを表す工夫をする。 鑑 ：風のもつおもしろさを感じたり、自分や友達の活動のよさや違いを味わったりする。	関 ：風の特徴を感じ取り、目に見えない風の姿を表すために、自分の思いのままに表そうとしている。 発 ：風動きをどのように表すか思いつき、材料を選び、しかけのつくり方を考えるなどの思いをめぐらせている。 創 ：材料を使って風の姿を表す工夫をしている。 鑑 ：風のもつおもしろさを感じたり、自分や友達の表現のよさや違いを味わったりしている。	関 ：風のいろいろな特徴を感じ取り、目に見えない風の姿を表すために、材料を効果的に使い、まわりと比べながら積極的に表そうとしている。 発 ：風動きをどのように表すか思いつき、材料を選び、しかけのつくり方を考えるなどの思いを豊かにめぐらせている。 創 ：材料を効果的に使い、何度も確かめながら意欲的に風の姿を表す工夫をしている。 鑑 ：風のもつおもしろさを深く感じたり、自分や友達の表現のよさや違いを味わったり、積極的に取り入れたりしている。	教師 ：布、各種紙類、風船、支えとなる棒やひも類、紙テープやスズランテープ、ポスターカラーなどの共同絵の具、接着剤 児童 ：描画材、はさみ、セロハンテープ
4-6時間 教科書 p.24-25	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	でこぼこ広場に 絵の具が走る	「でこぼこの画面から、 想像したり、考えたりし て、表したいことを思い つく」ことを通して、試 したり、見つけたり、考 えたりして、思いつく力 を培う	まず、異なる手触りのいろいろな材料を画面に配置 して貼りつけ、凸凹の画面をつくること自体を楽し む。できた凸凹画面に液体粘土を塗り、いわば凸凹の 「画用紙」をつくる。その白い凸凹画面からイメージ をふくらませて、絵の具で表現する。具象的表現でも 抽象表現でもよい。 〔共通事項〕との関連 凸凹の形やざらつきのおもしろさを感じながら、形 や色などの造形的な特徴をとらえ、これをもとに自分 のイメージをもつ。	関 ：身のまわりにある材料を白く固めるおもしろさに関心をもち、凸凹画面を楽しむ。 発 ：画面の凸凹や材質による感触の違いなどを感じ、思いを広げる。 創 ：画面の特徴を生かす材料や技法を選んで工夫する。 鑑 ：画面の形を生かした発想や表し方を感じ、認め合う。	関 ：身のまわりにある材料を白く固めるおもしろさに関心をもち、凸凹画面を楽しんでいる。 発 ：画面の凸凹や材質による感触の違いなどを深く感じるとともに、それをもとに思いを広げている。 創 ：画面の特徴を生かす材料や技法を選びながら、表現に生かす工夫をしている。 鑑 ：画面の形を生かした発想や表し方を感じ、認め合っている。	関 ：身のまわりにある材料を白く固めるおもしろさに強い関心をもち、凸凹画面を積極的に楽しんでいる。 発 ：画面の凸凹や材質による感触の違いなどを深く感じるとともに、それをもとに豊かに思いを広げている。 創 ：画面の特徴を生かす材料や技法を進んで選びながら、効果的に表現に生かす工夫をしている。 鑑 ：画面の形を生かした発想や表し方を深く感じ取り、積極的に認め合い、話し合うなどしている。	教師 ：板材または段ボールなどの支持体、液体粘土、刷毛、接着剤、ポスターカラーなど 児童 ：はさみ、水彩用具一式、ホチキス、身辺材（梱包材、ひも、布、ガーゼ、ネット、紙バンドなど）
4-6時間 教科書 p.26-27	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	※ 「そのば」くん 登場	「見つけた「顔」や場所 の特ちょうから、想像し たり、考えたりして、表 したい「そのば」くんを 思いつく」ことを通し て、試したり、見つけ たり、考えたりして、思い つく力を培う	身近な場所から「顔」を探し、デジタルカメラで撮 影する。見つけた「顔」や場所の特徴をもとに想像し た場面を絵に表す。印刷した「顔」の形や色、顔に見 立てたものの本来の役割や見つけた場所の雰囲気など から表す場面を連想する。思いついたイメージがどの ような場面なのかを伝えるように工夫して表す。 〔共通事項〕との関連 見つけた「顔」や「顔」のあった場所の特徴をとら え、表したい場面のイメージをもつ。	関 ：身近な場所に関心をもち、「顔」を探しながら表したいイメージが広がることを楽しむ。 発 ：見つけた「顔」の役割や「顔」があった場所の特徴などをもとに連想し、表したい場面を見つめる。 創 ：用具の特徴を生かし、表したい場面のイメージが伝わる表し方を工夫する。 鑑 ：身近な場所の特徴や自他の感じ方、表し方の違いやよさを味わい、伝え合う。	関 ：身近な場所に関心をもち、「顔」を探しながら表したいイメージが広がることを楽しんでいる。 発 ：見つけた「顔」の役割や「顔」があった場所の特徴などをもとに豊かに様々な連想を広げ、表したい場面を見つけている。 創 ：用具の特徴を生かし、表したい場面のイメージが伝わる表し方を工夫している。 鑑 ：身近な場所の特徴や自他の感じ方、表し方の違いやよさを味わい、伝え合っている。	関 ：身近な場所に高い関心をもち、「顔」を探しながら表したいイメージが多様に広がることを積極的に楽しんでいる。 発 ：見つけた「顔」の役割や「顔」があった場所の特徴などをもとに豊かに様々な連想を広げ、表したい場面を見つけている。 創 ：様々な用具の特徴や組み合わせを効果的に生かし、表したい場面のイメージがよりよく伝わる表し方を工夫している。 鑑 ：身近な場所の特徴や自他の感じ方、表し方の違いやよさを深く味わい、比べながら伝え合っている。	教師 ：デジタルカメラ、プリンター、画用紙 児童 ：水彩用具一式、クレヨン、パス、パステル、はさみ、のり、接着剤
2時間 教科書 p.28-29	A表現(1) ア、イ、 ウ (造形遊び) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	自然の中で感じ たことを…	「身近な場所やかん境、 材料の特ちょうを考え たり、見つけたりする」こ とを通して、試したり、 見つけたり、考えたりし て、思いつく力を培う	自然材料のもつ魅力を生かし、形や色を感じながら 自然環境や場所と関わって活動、表現していく造形遊 びの内容である。自然のよさを体全体で味わいなが ら、少しだけ手を加えて、景色を変えるように活動さ せたい。 これまでの経験を総合的に生かしながら活動を展開 していく。 〔共通事項〕との関連 自然材料を使い、その場所や環境に合った活動を試 行しながら、形や色などの造形的な特徴をとらえ、こ れをもとに自分でしたい活動のイメージをもつ。	関 ：自然環境のいろいろな特徴を感じ取り、自然材料を使いながら、自分が納得できるように表す。 発 ：自然材料を生かしてどのように風景を変えていくか思いつき、材料の組み合わせや表し方などに思いをめぐらせる。 創 ：自然材料を使い、風景を変える工夫をする。 鑑 ：自然環境そのもののよさや、自分と友達の表現の違いやおもしろさを味わう。	関 ：自然環境のいろいろな特徴を感じ取り、自然材料を使いながら、自分が納得できるように表している。 発 ：自然材料を生かしてどのように風景を変えていくか思いつき、材料の組み合わせや表し方などに思いをめぐらせている。 創 ：自然材料を使い、風景を変える工夫をしている。 鑑 ：自然環境そのもののよさや、自分と友達の表現の違いやおもしろさを味わっている。	関 ：自然環境のいろいろな特徴を感じ取り、自然材料を効果的に使いながら、自分が納得できるように積極的に表している。 発 ：自然材料を生かしてどのように風景を変えていくか豊かに思いついて発想し、自然材料の組み合わせや表し方などに深い思いをめぐらせている。 創 ：自然材料を効果的に使い、風景を変える工夫を意欲的にしている。 鑑 ：自然環境そのもののよさや、自分と友達の表現の違いやおもしろさをしっかりと味わっている。	教師 ：木の葉や実、草や枝、つる、石などの自然材料がある場所、麻縄やシュロ縄などの結束材料、紙テープ

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
2時間 教科書 p.30-31	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	形と色でショート チャレンジ 見える見える！ 遠くに、近くに	「自分マーク」やすき なもの大きさや重なり 方をくふうする」ことを 通して、形や色、方法や 材料を工夫する力を培う	「自分マーク」や好きなものなど、形の大小や重なり、色の濃淡などを生かした方法を使い、ものの遠近や動きのある情景を工夫してかく。 ものの遠近や動きのある情景をテーマにした表現であり、短時間題材としての位置づけである。 〔共通事項〕との関連 形の大小や重なり、色の濃淡などの違いを使うことにより、ものの遠近や動きのある情景を表現することができること知る。	関 ：形の大小や重なり、色の濃淡などを使った遠近や動きのある表現に興味や関心をもつ。 発 ：形の大小や重なり、色の濃淡などを生かした方法から、遠近や動きのある表現を思いつく。 創 ：形の大小や重なり、色の濃淡などを工夫し、遠近や動きのある表現をする。 鑑 ：形の大小や重なり、色の濃淡などの違いにより、ものの遠近や動きのある情景を表現することの楽しさや方法に気づく。	関 ：形の大小や重なり、色の濃淡などを使った遠近や動きのある表現に興味や関心をもっている。 発 ：形の大小や重なり、色の濃淡などを生かした方法から、遠近や動きのある表現を思いついている。 創 ：形の大小や重なり、色の濃淡などを工夫し、遠近や動きのある表現をしている。 鑑 ：形の大小や重なり、色の濃淡などの違いにより、ものの遠近や動きのある情景を表現することの楽しさや方法に気づいている。	関 ：形の大小や重なり、色の濃淡などを使った遠近や動きのある表現に高い興味や関心をもっている。 発 ：形の大小や重なり、色の濃淡などを生かした方法から、遠近や動きのある豊かな表現を思いついている。 創 ：形の大小や重なり、色の濃淡などを効果的に工夫し、遠近や動きのある表現をしている。 鑑 ：形の大小や重なり、色の濃淡などの違いにより、ものの遠近や動きのある情景を表現することの楽しさや様々な方法によく気づき、話し合うなどしている。	教師 ：画用紙(16切り) 児童 ：クレヨン、カラーフェルトペン
6時間 教科書 p.32-34	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	色を重ねて、ゆ めを広げて	「色が重なっていくこと から、ほりや刷りを試し たり、見つけたりして、 表したいことを思いつ く」ことを通して、試し たり、見つけたり、考え たりして、思いつく力を 培う	彫りと刷りの繰り返しから想像を広げ、表したいことを「彫り進み版画」で表す内容である。 何枚も刷ることができる版画のよさを生かし、色を変えて刷り重ねていくなどしながら、イメージを広げ、画面を構成する。 〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえ、これをもとに自分のイメージをもつ。	関 ：彫りと刷りの楽しさを味わい、新しい版画表現の方法に関心をもって取り組む。 発 ：彫りと刷りの繰り返しから想像を広げ、画面を構成する。 創 ：表したい感じができるように、彫りや刷りを工夫しながら表す。 鑑 ：彫った感じや刷り上がった感じを味わったり、友達の表現のよさを感じたりする。	関 ：彫りと刷りの楽しさを味わい、新しい版画表現の方法に関心をもって取り組んでいる。 発 ：彫りと刷りの繰り返しから想像を広げ、画面を構成している。 創 ：表したい感じができるように、彫りや刷りを工夫しながら表している。 鑑 ：彫った感じや刷り上がった感じを味わったり、友達の表現のよさを感じたりしている。	関 ：彫りと刷りの楽しさを味わい、新しい版画表現の方法に高い関心をもって積極的に取り組んでいる。 発 ：彫りと刷りの繰り返しから豊かに想像を広げ、画面を意欲的に構成している。 創 ：表したい感じがよりよくできるように、彫りや刷りを工夫しながら効果的に表している。 鑑 ：彫った感じや刷り上がった感じを深く味わったり、友達の表現のよさを感じたりして、積極的に話し合うなどしている。	教師 ：シナペンヤ、ローラー、練り版、版画インク、ばれん、版画用紙、すべり止めのネット、ドライヤー、新聞紙 児童 ：彫刻刀、古布、新聞紙、鉛筆、油性ペン
4-6時間 教科書 p.35-37	A表現(2) ア、イ、 ウ (立体) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	※ だんボールで、 試して、つくっ て	「だんボールの折り曲げ 方や組み合わせ方を試し たり、見つけたりして、 表したいものを思いつ く」ことを通して、試し たり、見つけたり、考え たりして、思いつく力を 培う	段ボールの材料としての可能性をいろいろと試すことから活動を始めたい。切ったり、折ったり、曲げたり、はがしたり、水につけて加工したり、段ボールと十分に関わることから、何を表したいか発想する。いろいろ試して発見したことを生かして、表現したいものやことを思いついて表す。 〔共通事項〕との関連 段ボールの材料としての可能性をいろいろと試しながら、それらが作り出す形の特徴をとらえ、自分の表したいイメージをもつ。	関 ：段ボールという材料をいろいろと試すことから、材料としての可能性に関心を持ち、表現を楽しむ。 発 ：段ボールという材料をいろいろと試すことから、材料としての可能性を見つけ、発想する。 創 ：段ボールという材料のよさを生かして、その使い方やつくり方を工夫する。 鑑 ：互いの表し方のよさやおもしろさを味わう。	関 ：段ボールという材料をいろいろと試すことから、材料としての可能性に関心を持ち、積極的に表現を楽しんでいる。 発 ：段ボールという材料をいろいろと試すことから、材料としての可能性を見つけ、発想している。 創 ：段ボールという材料のよさを生かして、その使い方やつくり方を工夫している。 鑑 ：互いの表し方のよさやおもしろさを味わっている。	関 ：段ボールという材料をいろいろと試すことから、材料としての可能性に強い関心を持ち、積極的に表現を楽しんでいる。 発 ：段ボールという材料をいろいろと試すことから、材料としての可能性をたくさん見つけ、想像力豊かに発想している。 創 ：段ボールという材料のよさを効果的に生かして、使い方やつくり方を積極的に工夫している。 鑑 ：互いの表し方のよさやおもしろさを深く味わい、積極的に話し合うなどしている。	教師 ：段ボール、段ボールカッター、カッターナイフ、カッターマット、化学接着剤(ホットボンド)、共同用アクリル絵の具(ポスターカラー)、竹ひご 児童 ：段ボール(箱)、はさみ、水彩用具一式、クレヨン、パス、古新聞紙
4-6時間 教科書 p.38-39	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	線が包んだ形、 線がつくった形	「線の材料で、思いつい たもののつくり方をくふ うする」ことを通して、 形や色、方法や材料を工 夫する力を培う	アルミ線針金、間伐材、梱包用テープ、紙バンドなどの線材で包んだ形や曲げた形から思いついたことを工夫して表す。主題材は、新聞紙の塊を組み合わせた形、ビニル袋に詰めたりしてつくった形にアルミ線針金を巻き、線でできた形のおもしろさを味わいながら表したいことを見つかる。また、間伐材や紙バンドなどを曲げたり組み合わせたりしながら、できた形のおもしろさから表したいことを見つけて工夫する。 〔共通事項〕との関連 線を組み合わせた形や色のおもしろさをとらえ、自分の表したいイメージをもつ。	関 ：線の組み合わせからできる形のおもしろさに関心を持ち、楽しんで取り組む。 発 ：線の組み合わせ方を試しながら、よさや美しさを考え、表したいイメージを広げる。 創 ：材料や用具の特徴を生かした組み合わせ方を考え、表し方を工夫する。 鑑 ：線でできる形のおもしろさや材料のよさをもとに自他の表し方の違いに気づき、伝え合う。	関 ：線の組み合わせからできる形のおもしろさに関心を持ち、楽しんで取り組んでいる。 発 ：線の組み合わせ方を試しながら、よさや美しさを考え、表したいイメージを広げている。 創 ：材料や用具の特徴を生かした組み合わせ方を考え、表し方を工夫している。 鑑 ：線でできる形のおもしろさや材料のよさをもとに自他の表し方の違いに気づき、伝え合っている。	関 ：線の組み合わせからできる様々な形のおもしろさに高い関心を持ち、楽しんで取り組んでいる。 発 ：線のいろいろな組み合わせ方を試しながら、形のよさや美しさを比べたり強調したりして、表したいイメージを豊かに広げている。 創 ：材料や用具の特徴を生かした多様な組み合わせ方を考え、よりよい表し方を工夫している。 鑑 ：線でできる形のおもしろさや材料のよさをもとに自他の表し方の違いに気づき、比べながら積極的に伝え合っている。	教師 ：アルミ線針金、古新聞、ビニル袋または新聞紙を溶かす水バケツ、マスキングテープ、色厚紙。線材の選択肢として間伐材や梱包用テープなど 児童 ：はさみ、接着剤、ホチキス、タオル、身辺材(夢や思い出にまつわる写真、カード、チケツト、小物など)

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
4-6時間 教科書 p.40-41	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形表現活動の快 さや楽しさを経験 させ、相互理解を 図る	※ 伝えたい気持ちを箱につめて	「箱を使って、相手に気持ち伝わるようにつくってたのしむ」ことを通して、心を開き、楽しく活動し、友達や人と関わり合う力を培う	見てほしい「私の世界」がうまく伝わるように、箱の立体的な構造を生かしたメッセージボックスづくりを楽しむ内容である。 既製の箱では伝えたいものができない場合は箱づくりから行うなど、箱の開く仕組みをうまく生かしながら、工夫して表現する。 〔共通事項〕との関連 箱を使って自分の世界をつくる活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえ、これをもとに自分の伝えたいイメージをもつ。	関 ：箱の機能と伝えたいメッセージを効果的に組み合わせて、楽しく表現する。 発 ：箱を開けたときの見る人へのアピール性などを考え、表現方法を構想する。 創 ：箱を開ける仕組みや伝えたいことを表現するための材料の使い方などを工夫して表す。 鑑 ：作品をどこに置か考えたり、互いに見せ合ったりして、そのよさを味わう。	関 ：箱の機能と伝えたいメッセージを組み合わせ、楽しく表現している。 発 ：箱を開けたときの見る人へのアピール性などを考え、表現方法を構想している。 創 ：箱を開ける仕組みや伝えたいことを表現するための材料の使い方などを工夫して表している。 鑑 ：作品をどこに置か考えたり、互いに見せ合ったりして、そのよさを味わっている。	関 ：箱の機能と伝えたいメッセージを、友達や人との関わり合いを考えながら、効果的に組み合わせ、楽しく表現している。 発 ：箱を開けたときの見る人へのアピール性などを考え、より効果的な表現方法を構想している。 創 ：箱を開ける仕組みや伝えたいことを効果的に表現するための材料の使い方などを積極的に工夫して表している。 鑑 ：作品をどこに置かを工夫して考えたり、互いに見せ合ったりして、そのよさを積極的に味わっている。	教師 ：工作用紙、展開図、箱(見本)、色画用紙、ひも類、紙粘土、モール、はさみ、描画材料、接着剤、カッターナイフ、カッターマット 児童 ：空き箱、はさみ、描画材料、接着剤、色紙、サインペン、身近材料
教科書 p.2-4	B鑑賞 (1)ア、イ		小さな美術館		「小さな美術館」では、各学年の発達や課題に即したテーマを設定している。誌面にはテーマに関連する作家作品のほか、児童作品や活動風景なども掲載し、表現活動とのつながりにも配慮した。また、児童が興味をもって作品と出合えるように、教師や友達が語りかける形で鑑賞の視点を示している。さらにどの学年においても1ページ大で扱う作品を取り上げ、教室での鑑賞資料として活用できるようにした。 ここでは「ひびき合う色と形」をテーマに、色と形が織りなす表情が特徴的な作品を取り上げている。「色と形」という視点から作品と対話する中で、それらが奏でる豊かな魅力に気づかせていきたい。				
教科書 p.6-7	B鑑賞 (1)ア、イ		ゆめをかたち に		児童がその学年で出合う材料や表現方法を使っている作家の作品と児童へのメッセージである。 ここでは、写真家・冒険家の石川直樹さんに登場していただき、様々な新しい出会いの中にたくさんの気づきや驚きがあることを児童に伝えてもらった。				
教科書 p.18-19	A表現(2) ア、イ、 ウ(工 作)		ひらめきコー ナー		立体的、工作的な構造や動かしたり飾ったりする造形のもつ機能を楽しみながら、造形表現の経験を豊かにしようとする内容である。身近な紙や紙製品を表現材料とし簡単な操作を加えながら、形や色、大きさや重さ、厚みや硬さ、丈夫さやもろさ、弾力性や光の透過性、手触りや肌触りなど紙のいろいろな種類や性質、特性などを感じ取らせたい。また同時に、手先、指先の動きや用具の扱いなど技能や技術に関わる能力も高めることが期待できる。 絵や模様などを加飾したり、構造や仕組みの工夫、遊び方や飾り方に児童の“ひらめき”が生きたりするところも多い。造形への関心や興味を高め、自由で豊かな表現を数多く経験させたい。 牛乳パックなどの本来の使用目的から離れ、表現材料として再利用することに関心高め、収集や分解、保管の方法などにも目を向けさせたい。				色画用紙、色造形紙、お花紙、牛乳パック、はさみ、カッターナイフ、カッターマット、定規、ホチキス、接着剤、水彩用具など

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
教科書 p.42-43	B鑑賞 (1)ア、イ		みんなの ギャラリー		暮らしを豊かで楽しいものにするために造形が果たす役割は大きい。そのために、児童が関心をもてるような行事や祭り、イベントなどを紹介している。 ここでは、「伝統の技を学ぶ」「みんなでいっしょに」「教室を飛び出して」の三つのテーマでくくっている。				
教科書 p.44-45	A表現(2) ア、イ、 ウ（絵）		パレットコー ナー		各学年の発達の段階において必要な描画材料の基本的な使い方を示した。ここでは、水彩絵の具の使い方、特にパレットや筆洗、筆の基本的な使い方を「もう一度たしかめよう」として中学年の復習を掲載している。また混色や中学校美術へつながる色相環を野菜や果物で示している。 パレットコーナーでは、全学年とも「造形コレクション」のコーナーを設け、児童が絵をかくときの発想・構想のヒントとして活用できるようにした。ここでは、「自然が生み出す形・色」として季節や時間の違う自然の風景を掲載している。				
教科書 p.46-47	A表現(2) ア、イ、 ウ（工 作）		道具箱		道具は、材料とともに造形活動になくてはならないものである。児童が自らの思いを実現させるために、道具の正しく合理的な使い方を知ることは大切なことである。そのための手引きとなるページである。 ここでは、ペンチと針金の使い方、紙やすりの使い方を中心に、彫刻刀の使い方を復習として掲載している。 また、「ざいりょうはたからもの」では、材料を集めることから造形活動は始まるという視点から、主に高学年で扱う材料を掲載している。				
裏表紙	B鑑賞 (1)ア、イ		見つけたよ すてきな形・色		上巻では「見つけたよ、すてきな形・色」をテーマとして、学年に応じて、自然物や人工物の造形的に美しい写真を掲載している。 ここでは、日本の伝統工芸品の美しい形や色、模様を取り上げている。				